

## 第1回 郡中200年祭実行委員会の概要報告

1. 開催日時 平成27年10月20日(火) 18時50分～20時45分
2. 開催場所 伊予市生涯研修センター さざなみ館
3. 出欠状況  
実行委員 出席人数37名、欠席人数3名  
アドバイザー 出席人数0名、欠席人数1名  
オブザーバー 出席人数2名、欠席人数1名  
事務局 出席人数4名、欠席人数0名
4. 第1回 郡中200年祭実行委員会 次第  
○開会に先立ち伊予農業高等学校より「日本農業クラブ全国大会出場の支援について」のお願い
  1. 開会のあいさつ 株式会社まちづくり郡中 代表取締役 一色克仁
  2. オブザーバー各位の紹介
  3. 実行委員各位の自己紹介
  4. 実行委員長の選任
  5. 「郡中」のまちづくりの歴史から学ぶ 伊予市文化協会 会長 門田眞一氏
  6. 概要説明と意見交換 株式会社まちづくり郡中 相談役取締役 徳本研三
    - (1) 伊予市中心市街地の活性化と株式会社まちづくり郡中について
    - (2) 郡中200年祭の概要とポイント、部会について
    - (3) 郡中200年祭全般について意見交換 (時間の関係で割愛)
  7. 部会ごとのワークショップ
  8. ワークショップ結果の報告と意見交換 (時間の関係で意見交換は割愛)
  9. 閉会

(以下 敬称略)

5. 「郡中」のまちづくりの歴史から学ぶ  
大洲藩へのお替地が行われた1635年から現代まで380年間のまちづくりの歩みの概要をスライド映写等で説明しました。小冊子「豊川渉の思出之記」を全員の方に配布しました。 講師：伊予市文化協会 会長 門田眞一
6. ワークショップの結果  
**A部会 子供たちが町の歩みを学び合う企画と実行**  
出席オブザーバー：小原明美 (今回に限りA部会を担当)

出席委員：吉田京子、谷本圭司、奥野勝也 代理 澤山陽一、棟田隆治、  
中村禎司、坂本美保、大政五十子、日野桂子、靄岡正直、一色克仁  
出席事務局：谷本照美

ワークショップの結果 発表者：小原明美  
体験や学びとか、イベントを通して子供たちに伝えていくのが良いのでは。  
例えば、

- ・買い物ごっこをすることで、郡中の商いのことを知る。
- ・スタンプラリー・クイズラリー形式で、子供たちに回ってもらう  
(お楽しみを付ける)
- ・松前町が「子供作兵衛会議」をやっている。同じようなことができないか？
- ・検定試験、例えば「郡中検定（1級2級）」の様なもので、郡中を知ってもらう。

**郡中**という言葉は、住所には無いが、駅とか銀行の名前に残っている。  
「郡中って何？」と子供に聞かれたら、ちゃんと答えられるところまで持っていけたらよい。  
学びあうことは、子供も大人も大切であると痛感した。

### **B部会 まちづくりの歩みのシンボルゾーン「港と五色浜」に親しむ企画と実行**

出席委員：毛利伍良、門田眞一、坪内寛、向井幹雄、宮内保雄、水口純子、  
日野鈴香、森 和志、隅田 英久、徳本研三  
出席事務局：石田照子

ワークショップの結果 発表者：門田眞一

1. 港づくりで郡中は発展した。その歴史を伝えていく。
  - ・港づくりの事実、さまざまな先人達の苦労、努力をわかりやすく伝える。
2. 港湾で発展したが、今の魅力を再点検して、磨いていく。
  - ・花火・海水浴場・ビーチバレー・いもたき・松林・海水プール
  - ・イベント以外で夕日を見ながら「ゆっくりとよい時間」「幸せな時間」を楽しむには、どうしたらよいか。
  - ・若い人の感覚で「おもしろい」「こういうことができないか」ということを引っ張り出すことが必要。
3. 物語性をつくる。
  - ・郡中港を降りてから五色浜へたどり着くまでのストーリーが見えてくるなかで、まちの楽しさ・魅力を伝える。
4. 五色浜神社・彩濱館など行政の力を借りて、良くしていくことが必要。

### C部会 雇用や暮らしを支える産業を学び合い育てる企画と実行

出席委員：中尾 均、徳田和敏、岡崎良三、一色喜代子、菊澤 康、藤村泰雄、  
桐嶋正彦、市野孝俊、片岡直人

出席事務局：重松佳子

ワークショップの結果 発表者：片岡直人

「雇用」と「産業」を、どのように200年祭での企画等につなげていくのか、話し合いの方向性がわかりづらい。

郡中を繁栄させてきた産業の歴史を振り返って学ぶためには、まず、伊予市にどのような産業があるのか、を再度認識し直す必要がある。なかでも、花かつお産業を外して考えることはできない。

会社の中枢機能が大都市に移行される傾向もあるが、あらためて、伊予市を牽引してきた地場産業について知り、広めていくことが大切である。

### D部会 お宝発見・再発見、その他の企画と実行

出席オブザーバー：稲田里香

出席委員：土居裕和、渡辺大記、高田裕司、若松一心、谷岡扶美、武内英治、  
新居田真美、武智忠広

出席事務局：安田絹代

ワークショップの結果 発表者：稲田里香

- ・やっぱり海、五色浜が郡中のお宝である。毎年ビーチバレーの全国大会があるのはよく考えたら実はスゴイことである。
- ・JR、伊予鉄という公共機関が、これだけ充実している町はないのではないかな。
- ・公共機関を使って郡中だけではなく隣の町(伊予市全体)と繋がった何かが出来るとのではないかな。
- ・伊予彩まつりなど、郡中のいろいろな祭りやイベントとからんで、200年祭の行事やイベントをからめて考えていく。
- ・来良夢が昔の姿に戻った時に、もしかしたら、今以上の力を持ってくるのでは。
- ・商店街を気軽に食べ歩きや休憩ができる、人に会える町にしていく。
- ・郡中は便利で可能性のある町である。これから、私たちがしたいと思える具体的なアイデアをこれから話していく。

当日のようすを写真で紹介します



オブザーバー 小原明美氏



オブザーバー 稲田里香氏



「郡中」のまちづくりの歴史から学ぶ 門田眞一氏の講演



A部会 ワークショップのようす



B部会 ワークショップのようす



C部会 ワークショップのようす



D部会 ワークショップのようす

## 第2回 郡中200年祭実行委員会 メモ